

第二回

東京バラライカ・アンサンブル 定期演奏会

四季香り立つロシアの風を

指揮／吉岡弘行

ドムラ／ヴァチェスラフ・クルグロフ

バラライカ／ヴァレリー・ザジーギン

ピアノ／ラリーサ・ゴドリヴ

朗読／ニキータ山下

プログラム

プーシキン短編「吹雪」によせた音楽的絵画「ロマンス」 G.スヴィリドフ

ピアノ組曲「四季」より P.チャイコフスキー

2月 “冬おくりの祭り”

4月 “雪割草”

6月 “舟歌”

11月 “トロイカ”

“夕べ窓辺に娘が” A.シャーロフ

ワルツ “追憶” A.ラチーノフ

“ロシア狂詩曲” G.シェンデリョフ

ドムラ・コンチェルト “第一楽章” N.ブダーシュキン

バラライカ・コンチェルト “民衆の責めを背負いて” A.シャーロフ

バラライカ・コンチェルト “トロイカ” N.ブダーシュキン

“ヴェニスカーニバル” N.バガニーニ

“ロシア民謡メドレー”

2008年12月2日(火)

日本大学カザルスホール

東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」
JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」

開場 18:30 開演 19:00

全席自由 3,000円

お問い合わせ

東京バラライカ・アンサンブル

Tel. / Fax. 03-5974-8303

Mail musica-lara@utopia.ocn.ne.jp

後援／ロシア文化フェスティバル日本組織委員会 ロシア連邦大使館
日本・ロシア音楽家協会 合唱団白樺
主催／東京バラライカ・アンサンブル



ロシア文化フェスティバル
2008 IN JAPAN



第二回東京バラライカ・アンサンブル 定期演奏会



北川つとむ追悼演奏会 2006. 7/25

東京バラライカ・アンサンブル

—ロシア民族楽器オーケストラ—1982年、北川つとむがロシア民族楽器オーケストラとして結成。'92年、創立10周年記念演奏会。'92、'93年、ロシアで開催された「国際民族楽器フェスティバル」に日本代表として参加。'96年、モスクワ<チャイコフスキーホール><グネーシン音楽アカデミー>にて演奏会。同年、秋<練馬文化センター>にて、帰朝公演。'97年<浜離宮朝日ホール>にて創立15周年記念演奏会。'99年、サンクトペテルブルグ「白夜祭フェスティバル」に参加、4公演を行う。'01年7月のロシア公演では、ヴォルガ河畔の各都市で演奏。国際親善を図りながら、その演奏は高い評価を受けた。'02年<なかのZEROホール>にて、創立20周年記念演奏会を行う。活発な演奏活動ばかりでなく、来日するアンサンブルやソリストのプロデュースも手がけている。日本で初めてのロシア民族楽器オーケストラとして発足以来、二期会ははじめ多くの声楽家や合唱団と共演。'05年9月、当アンサンブルの主宰・指揮・編曲者であった北川つとむ逝去(享年49歳)。'06年より、吉岡弘行を客演指揮者に迎え、7月25日カザルスホールにおいて「北川つとむ追悼演奏会」。'07年10月、文京シビック大ホールにて「創立25周年記念演奏会」開催。



吉岡弘行
(指揮)

東京藝術大学作曲科卒業。同大学院修了。作曲を河田文忠、北村昭、小林秀雄、佐藤眞、指揮法を坂本和彦、ヘルムート＝リリンク、ヴァイオリンを井崎郁子、澤和樹、ピアノを野村真理の各氏に師事。第10回笹川賞及び第52回日本音楽コンクール作曲部門第2位(1位なし)受賞。これまでに日本フィルハーモニー管弦楽団、原宿パロックアンサンブル、東京混声合唱団等々、多くのオーケストラ、室内楽、合唱、歌劇を指揮し好評を博す。また讃禱歌の編曲、指揮者としてニューヨーク国連本部、バンクーバー、パリ、ヴァチカン市国(ローマ法王の謁見演奏)、ハイデルベルグ、北京、西安等で公演を重ねる。現在は作曲家、アレンジャー、指揮者として広く活躍中。'06年より東京バラライカ・アンサンブル客演指揮者となる。



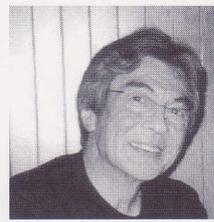
ヴァレリー・ザジーギン
(バラライカ)
&
ラリーサ・ゴドリヴ
(ピアノ)

1971年、グネーシン名称音楽教育大学卒。ニチポレンコ教授にバラライカを師事。1979年、全ロシア民族楽器演奏コンクール第1位。ザジーギンの芸術的手腕、豊かで高い感情に訴える音色はロシアの音楽批評家たちによって繰り返し賞賛されてきた。新聞「チュメニ・プラウダ」(1981年1月31日付)は次のように述べている。「シヨスターコーヴィッチ、バガニーニ、サラサーテの作品のダウ部分はバラライカのために書かれたものではないが、V.ザジーギンの手にかかるると、この3弦の楽器がまるでヴァイオリンやギターのように多彩に鳴り響いた。演奏が終わるとどっと聴衆の熱烈な拍手が湧き起こった」。V.ザジーギンのソロ・リサイタルはいつもラリーサ・ゴドリヴ夫人のピアノとのアンサンブルで演奏された。巧みで博学な音楽家ラリーサ・ゴドリヴは、ザジーギンの成功に対し多大の貢献をしている。ロシア人民芸術家。夫人はロシア功労芸術家。



ヴァチェスラフ・クルグロフ
(ドムラ)

サンクト・ペテルブルグ音楽院卒業。シンフォニーの指揮とドムラクラスに学ぶ。1972年モスクワでの全ロシア民族楽器コンクールに入賞。現在グネーシン名称音楽教育大学教授。後進の指導にも熱心で、彼の弟子の43名もが有名なコンクールの受賞者に名を連ねている。ドムラのほかに、マンドリンにも精通しており、3弦ドムラ、4弦ドムラの教則本と共に、マンドリンの演奏に関する著書も出版している。ロシア人民芸術家。



ニキータ山下
(朗読)

ロシア語翻訳家。(株)アンヴィックス代表取締役。1937年中国ハルビン生まれ。東京藝術大学声楽科卒業。男性ヴォーカル・カルテット「ロイヤル・ナイツ」バリトン。1966~1978年に8度のロシア東欧演奏旅行で500回のコンサート。1991年、アトランタ(米国)、パリ、ロンドン、アムステルダムでのコンサートツアー。2008年3月まで東京藝術大学非常勤講師(ロシア声楽曲歌唱指導)。訳書に「闘う白鳥」マイヤ・プリセツカヤ自伝(文藝春秋社)ほか。

お問い合わせ

東京バラライカ・アンサンブル

Tel. / Fax. 03-5974-8303

Mail musica-lara@utopia.ocn.ne.jp

後援/ロシア文化フェスティバル日本組織委員会 ロシア連邦大使館

日本・ロシア音楽家協会 合唱団白樺

主催/東京バラライカ・アンサンブル

日本大学カザルスホール

JR中央線・総武線
「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口から
東京メトロ丸ノ内線
「御茶ノ水駅」
東京メトロ千代田線
「新御茶ノ水駅」B1・B3出口から

